

令和3年9月16日  
九州地方整備局  
福岡国道事務所

## 国道3号博多バイパス（下臼井<sup>しもうすい</sup>～空港口）の 都市計画手続きが始まります

「国道3号 博多バイパス（下臼井<sup>しもうすい</sup>～空港口）」について、計画段階評価における地域の皆様からの意見も踏まえ、対策案を部分立体化に決定しました。

本日、国がこれまで調査した結果とあわせて、福岡市へ都市計画（案）に関する図書を送付しました。

今後、福岡市において、都市計画手続きに着手することになります。

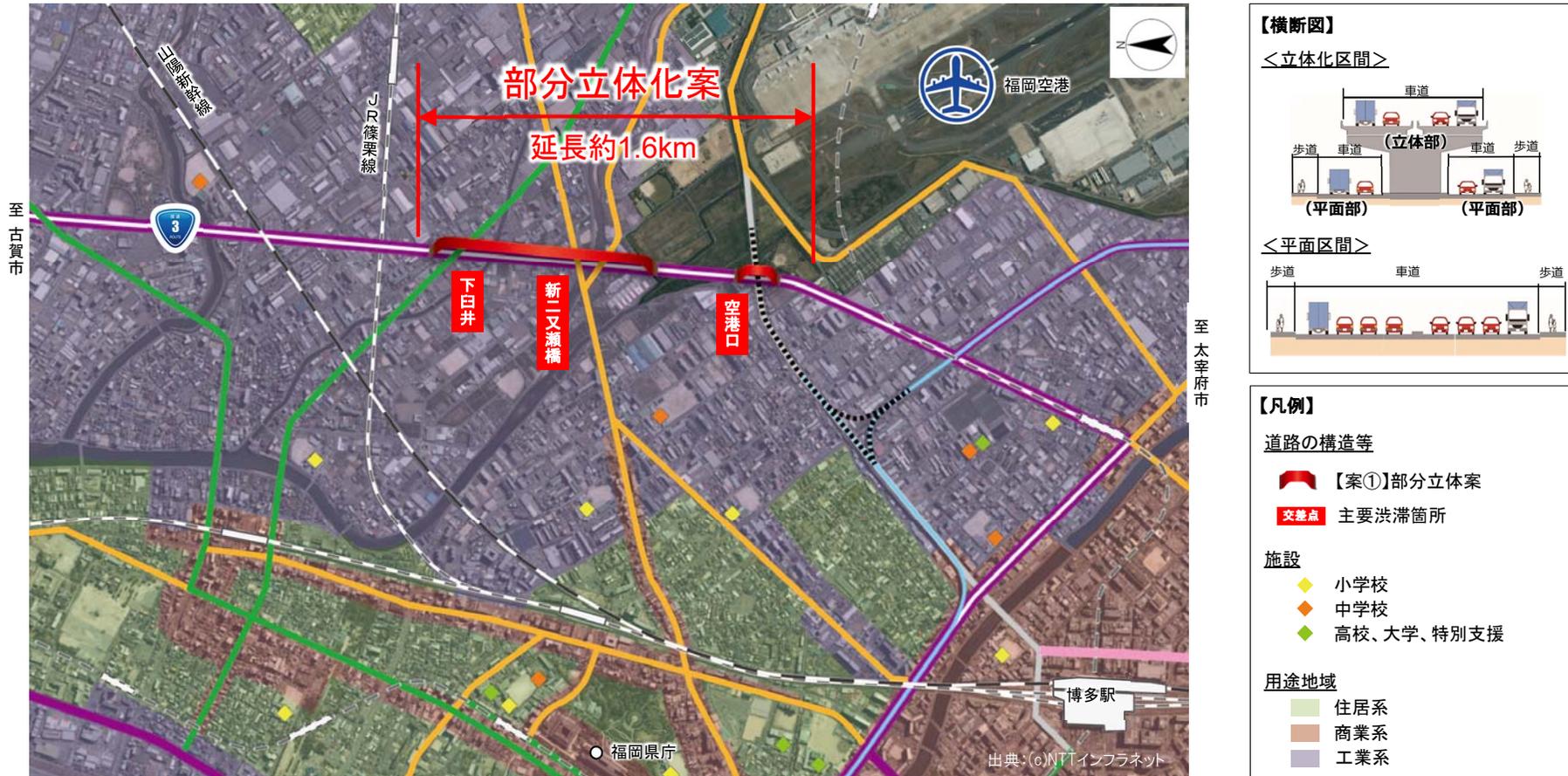
【問合せ先】：国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所

技術副所長 島川 浩一<sup>しまかわ こういち</sup>

計画課長 沼尾 健太<sup>ぬまお けんた</sup>

（代表）電話：092-681-4731（直通）電話：092-682-7747 FAX：092-682-7763

E-mail：[qsr-fukkoku@mlit.go.jp](mailto:qsr-fukkoku@mlit.go.jp) URL：<http://www.qsr.mlit.go.jp/fukkoku/>



## <主な意見>

- 渋滞で心理的にもストレスがたまるため、早期に立体化（一部でも）を進めてほしい。
- 幹線道路の信号交差点は、渋滞ポイントとなりがちなので、立体化が可能であれば、計画的に連続して整備していくことが必要だと考えます。
- 博多駅や空港を利用します。ラッシュ時は時間に余裕をもっていくようにしています。それでも渋滞が酷すぎてギリギリのこともあります。博多駅、空港への利用がしやすい部分立体化がベターだと思います。
- 博多バイパスは渋滞がひどく救急搬送時間が読みづらいことに加え、信号交差点が多く、頻繁な加減速により患者への負担が大きい。
- 工事中の影響が少なく、早期供用が可能な部分立体でスピード感をもって取り組んで欲しい。



## <対応方針(案)>

- 『部分立体化案』を対応方針(案)とする。
- 博多駅や福岡空港方面への利便性に優れ、現道の渋滞・事故に対する課題解決や産業物流拠点の速達性向上及び救急医療活動の支援を図るとともに、工事中の交通規制の影響を最小限に考慮した対策。

＜部分立体化案＞

